

科目名		神経内科学特論	
科目責任者		足立弘明（神経内科学 教授）	
開講時期：1～2年次		単位数：6 単位	時間数：90分× 45 回
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) 神経疾患・筋疾患・心療内科疾患の症候学、病態について理解を深める。 行動目標 (SBOs) 1) 神経軸索輸送の種類、およびその作動原理を概説できる。 2) 神経細胞膜に局在する受容体の種類、およびそのシグナル伝達機序を概説できる。 3) 神経細胞内小器官の種類、およびその構造を概説できる。 4) 神経細胞内小器官の機能、およびその機能を担う分子を概説できる。 5) 神経細胞ネットワークの機能的連関を説明できる。 6) 神経細胞機能解析における細胞生理学的アプローチの手法を説明できる。 7) 神経細胞機能発現に関与する分子の動態を説明できる。 8) シナプス情報伝達を概説できる。 9) 神経疾患・筋疾患・心療内科疾患の診察法を概説できる。 10) 神経疾患・筋疾患・心療内科疾患の検査法を概説できる。			
● 評価方法		検討会での討論30%・発表30%・レポート40%等で総合評価する。	
● 参考文献		講義の中で必要に応じ紹介する。	

授 業 項 目 (内 容)
神経疾患の症候学
筋疾患の症候学
心療内科疾患の症候学
神経細胞機能発現に関与する分子の機能と病態への関与
神経細胞ネットワークの機能連関
神経細胞内小器官の種類・構造・機能・分子局在
分子生物学的アプローチの種類
細胞生物学的アプローチの手技
細胞生物学的アプローチの意義と問題点
モデル動物の種類と管理方法
モデル動物の生化学的解析方法
モデル動物の病理学的解析方法
疾患関連遺伝子の解析方法
新規治療法開発研究の方法
トランスレーショナルリサーチの実践法